

富山県高等学校体育連盟規約

(昭和 23. 6. 20 制 定)

(昭和 37. 4. 20 一部改正)

(昭和 61. 4. 一部改正)

(平成元年 1. 24 一部改正)

(平成 3 年 4. 23 一部改正)

(平成 11 年 1. 21 一部改正)

(平成 12 年 1. 26 一部改正)

(平成 18 年 4. 20 一部改正)

(平成 20 年 4. 22 一部改正)

(平成 25 年 1. 25 一部改正)

(令和 6 年 4. 1 一部改正)

(令和 8 年 1. 28 一部改正)

第 1 章 総 則

〈名 称〉

第 1 条 本連盟は、富山県高等学校体育連盟（略称：富山県高体連）と称する。

〈事務局〉

第 2 条 本連盟の事務局は、会長が指定する場所に置く。

〈目 的〉

第 3 条 本連盟は、富山県高等学校における体育・スポーツの普及・発展と健全な心身の発達を図ることを目的とする。

〈事 業〉

第 4 条 本連盟は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 各種体育大会の開催
2. 体育・スポーツに関する調査・研究及び講習会等の開催
3. 優秀な団体・個人に対する表彰
4. その他本連盟の目的達成に必要な事項

〈組 織〉

第 5 条 本連盟は、富山県内の高等学校（以下「加盟校」という）をもって組織する。なお、富山県内を新川地区、富山地区、高岡地区、砺波地区に区分し、それぞれ地区高体連をおく。

第 6 条 本連盟は、全国高等学校体育連盟、北信越高等学校体育連盟並びに、(公財)富山県スポーツ協会に加盟する。

第 7 条 本連盟は、次の専門部及び委員会をおく。

1 専 門 部

- (1) 陸上競技 (2) 体操 (3) 水泳 (4) バスケットボール

(5) バレーボール	(6) 卓球	(7) ソフトテニス	(8) ハンドボール
(9) サッカー	(10) ラグビー	(11) バドミントン	(12) ソフトボール
(13) 相撲	(14) 柔道	(15) スキー	(16) ローイング
(17) 剣道	(18) レスリング	(19) 弓道	(20) テニス
(21) 登山	(22) ボクシング	(23) ホッケー	(24) ウェイトリフティング
(25) ヨット	(26) フェンシング	(27) 自転車	(28) アーチェリー
(29) なぎなた	(30) 空手道	(31) カヌー	(32) ライフル射撃
(33) ゴルフ	(34) スケート	(35) 定通部	(36) 研究部

2 委員会

- (1) 基本問題検討委員会 (2) 強化推進委員会

2. 前項各号の組織に関する必要な事項は、別に定める。

第 2 章 役 員

第 8 条 本連盟は、次の役員を置く。

(1) 会長	1 名	(2) 副会長	6 名
(3) 評議員 加盟校代表者 (校長)	1 名	(4) 部長 (各専門部の校長)	3 6 名
(5) 委員長 (各専門部)	3 6 名		
(6) 理事長	1 名	(7) 副理事長	若干名
(8) 常任理事	若干名	(9) 理事	若干名
(10) 監事	2 名		

第 9 条 会長及び副会長は評議員会において推挙し、総会でこれを決定する。

2. 会長は本連盟を代表し、会務を統括する。

3. 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は、その職務を代行する。

第 10 条 評議員は加盟校の校長とする。

第 11 条 部長は評議員会に諮って、会長これを委嘱する。部長は当該部の会務を統轄する。

第 12 条 委員長は部長の推薦により、会長これを委嘱する。委員長は部長を補佐するとともに専門部の運営にあたる。

第 13 条 理事長、副理事長及び常任理事は総会において選出し、会長これを委嘱する。理事長は会長の指示を受け、本連盟の常務及び会務の処理に当たる。副理事長は理事長を補佐し、理事長事故ある時は、その職務を代行する。

第 14 条 理事は次の各項のいずれかに該当する者について、会長これを委嘱する。

1. 加盟学校の保健体育科主任
 2. 各専門部委員長
 3. 地区理事長
 4. その他会長が特に必要と認める若干名
- 理事は、本連盟の一般業務を処理する。

第 15 条 常任理事は理事の中から次のように選出する。

地 区 理 事 長 4 名

専 門 部 委 員 長 4 名

会 長 推 薦 若 干 名

常任理事は、本連盟の運営並びに緊急な事項 審議に当たる。

第 16 条 地区理事長は、地区会長の推薦により会長これを委嘱する。地区理事長は会務の処理に当たる。

第 17 条 監事は総会において選出し、会長これを委嘱する。監事は、会計の監査に当たる。

第 18 条 役員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残りの期間とする。

第 3 章 会 議

第 19 条 本連盟は次の会議を設ける。

1. 総 会
2. 評 議 員 会
3. 常 任 理 事 会
4. 専 門 部 委 員 長 会
5. 各 種 委 員 会

第 20 条 総会は、本連盟の決議機関であり、第8条の規定する役員をもって構成する。

2. 総会は、会長が招集し、会長がその議長となる。
3. 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 事業報告及び事業計画に関すること
 - (2) 予算及び決算に関すること
 - (3) 役員改選に関すること
 - (4) 規約の改正に関すること
 - (5) その他の重要事項

第 21 条 常任理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事をもって構成する。

1. 常任理事会は、必要に応じて開き、会長これを招集する。
2. 常任理事会は、会長が議長となり、次に掲げる事項について調査・審議する。
 - (1) 事業の企画・立案に関すること
 - (2) 予算・決算に関すること
 - (3) その他必要な事項

第 22 条 専門委員長会は、会長、理事長、副理事長、専門部委員長をもって構成する。

1. 専門部委員長会は、会長が招集し、会長がその議長となる。
2. 専門部委員長会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 高体連が主催する大会の企画・立案に関すること
 - (2) 高体連が主催する大会の予算・決算に関すること
 - (3) その他必要な事項

第 23 条 評議員会及び各種委員会は必要に応じ会長これを招集する。

第 24 条 会議は、それぞれ構成員の総数の半数以上（委任状を含む）により成立する。

第 25 条 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長が決定するところによる。

第 4 章 会長の専決処分

第 26 条 会長は、総会及び常任理事会を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。

第 27 条 前項の規定により専決処分をしたときは、会長は、これを次の総会等において報告し、その承認を求めなければならない。

第 5 章 会 計

第 28 条 本連盟の経費は次のものを以てあてる。

1. 負 担 金
2. 補 助 金
3. 寄 付 金
4. そ の 他 の 収 入

第 29 条 本連盟の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 6 章 補 則

第 30 条 この規約に定めるもののほか、本連盟の運営に関し必要な事項は会長別にこれを定める。

第 31 条 本連盟加盟校は、本連盟（全国高体連、北信越高体連を含む）が主催又は共催（後援）する以外の競技会に出場する場合は、本連盟並びに学校長の承認を得なければならない。